

総務民生常任委員会 議事録

日時：令和8年6月5日（金）

11：10～

場所：全員協議会室

出席者

委員名 委員長 岩佐 秀一 副委員長 渡邊 千恵美 委員 竹内 和彦
委員 村野 里砂 委員 齋藤 俊夫 委員 大和 晴美

欠席なし。

会 議 次 第

1 開会宣告【委員長】

2 連絡

※ SideBooks及びMicrosoft Teamsの04_常任委員会 総務民生常任委員会フォルダに
次第・資料を格納します。確認をお願いいたします。

3 所管事務調査

(1) 日程調整

【齋藤俊夫委員】情報共有したい。先日の太陽光住民説明会がひどかった。議員は参加しても発言はしないものだが、アドバイスせざるを得なかった。次第は2ページ、事業者の説明資料はA3サイズであった。。全協で示された資料はなかった。執行部担当課紹介があったが名簿もない。東部の土地利用の説明会と説明されただけで、課長が挨拶で触れたのみであり、事業者の説明も拙かった。出席者が途中で退席する事態だった。町と事業者の連携がとられていない。信用に足る事業者と捉えられなかった。

【委員長】継続して調査するべきこと。ただ、地権者の意見もある。

【齋藤俊夫委員】午後も足を運んだが、地権者説明会だと断られた。40名程度の参加。一般質問するが、再質問を考える中で振り返りをしてみた。全体スケジュールが見えない。資源エネルギー庁が発行する事業説明会のポイント資料から見ると、町も事業者がその内容を理解しているとは感じられなかった。5月12日全協の資料や説明を振り返ると、その前段なのか、どの段階なのか不明である。21ヘクタールに町有地が点在している。5,000平米以上の土地を売買する場合は議決事件となる。町有地は4ヘクタールある。

【委員長】地権者のこともあるし、継続して調査していく。

【渡邊千恵美委員】賃貸借なのか、売買なのか。後年度負担など調査はできないのか。

【委員長】それは当委員会の所管外である。できる範囲をしていく。

【渡邊千恵美委員】次世代に負担を残さないような結果になることを望む。

【齋藤俊夫委員】資源エネルギー庁の資料には詳細に書いてある。説明会開催の周知期間は2週間前までとされている。7項目の説明事項が必要である。事業の影響及び想定、廃

棄費用、積立費用等々。正式な説明会と思えない。一定の手続きの前段の説明会としか捉えられない。

【委員長】委員会の趣旨が反対の立場であっても11日の常任委員会予定日に住民説明会後のことを担当課から聞く。継続調査し、9月の定例会に報告すればいい。視察研修事項も検討してきてほしい。

4 その他

- (1) 次回開催 令和8年6月11日に開催する。閉会中の継続審査報告書も提案する。限界集落問題、複数行政区での試みに対する上乗せ案を意見に入れる。

5 閉会宣告【委員長】

(11:55閉会)